

第 7 回
神明(明石川等)地域総合治水推進協議会
議事概要

■日 時：令和 7 年 3 月 7 日（金）14:00～15:30

■場 所：明石市民会館 第 1・第 2 会議室

■出席者：別紙（一般傍聴者なし）

■議 題：

＜議事＞

(1) 総合治水推進計画の改定について

(2) 各機関の主な取組み

(3) 計画のフォローアップについて

＜その他＞

(1) 神戸地方気象台からの情報提供

■配付資料：

議事次第、出席者名簿、配席図

資料 1 神明（明石川等）地域総合治水推進計画 改定概要

資料 2 神明（明石川等）地域総合治水推進計画（改定案）の主な修正箇所一覧

資料 3 神明（明石川等）地域総合治水推進計画 本編（改定案）

資料 4 神明（明石川等）地域総合治水推進計画 資料編（改定案）

資料 5 各機関の主な取組み

資料 6 地域総合治水推進計画のフォローアップ

資料 7 神明（明石川等）地域総合治水推進計画 フォローアップシート（改定案）

資料 8 神戸地方気象台からの情報提供

参考資料 1 神明（明石川等）地域総合治水推進協議会 設置要綱

参考資料 2 神明（明石川等）地域総合治水推進協議会 公開要領

参考資料 3 第 6 回神明（明石川等）地域総合治水推進協議会 議事概要

参考資料 4 第 6 回神明（明石川等）地域総合治水推進協議会での質問事項について

参考資料 5 神明地域減災対策アンケート結果

1. 開会

あいさつ（東播磨県民局長）

委員及び出席者紹介（事務局）

あいさつ（会長）

2. 議事

(1) 総合治水推進計画の改定について

参考資料 3「第 6 回神明（明石川等）地域総合治水推進協議会 議事概要」、参考資料 4「第 6 回神明（明石川等）地域総合治水推進協議会での質問事項について」、資料 1「神明（明石川等）地域総合治水推進計画 改定概要」、資料 2「神明（明石川等）地域総合治水推進計画（改定案）の主な修正箇所一覧」、資料 3「神明（明石川等）地域総合治水推進計画 本編（改定案）」、資料 4「神明（明石川等）地域総合治水推進計画 資料編（改定

案)」について説明（事務局）

- ・ハザードマップの改定版について、次はいつ頃配布される予定か。また、雨水貯留タンクについて、明石市は雨が少ないため設置しても意味がないと思うが、設置するのにいくらぐらいかかるのか。（県民委員）
- ハザードマップの配布時期については、担当でないため分からないが、内水ハザードマップを令和7年度末までに作成予定としている。（明石市委員）
- 備えとして各戸貯留の取組は必要である。雨水貯留タンクはホームセンターであれば数万円程度で買えると思う。（事務局）
- ・県での雨水貯留タンク費用の補助はないのか。（会長）
- 県としての補助はない。（事務局）
- 明石市は過去に補助していたが、徐々に申請数が減っていき、今はしていない。（明石市委員）
- 神戸市も過去に東灘区で補助していたが、徐々に申請数が減っていき、制度としてはなくなった。（神戸市委員）
- ・今後、住民からの要望があれば検討するのか。（会長）
- 国からの予算措置などがあれば検討することになると思う。（明石市委員）
- ・気候変動に対応して、国では想定降雨を見直す動きがあるが、この地域での河川整備計画の計画降雨は見直さないのか。（会長）
- 明石川はまだ現行計画の整備途上なので、目標をあげるという動きはない。（事務局）

(2) 各機関の主な取組み

資料5「各機関の主な取組み」について説明（事務局、神戸市、明石市）

- ・明石市の河川整備の計画はないのか。（県民委員）
- 明石市内の河川の整備は、県だけで市によるものはない。下水道事業では、水路等の拡幅を実施している。（明石市委員）
- ・県道林崎港線沿いの高浜川では水路を暗渠化する計画があるが、道路部分が老朽化しており、いつ陥没してもおかしくない状況である。整備については、どのような状況になっているか。（県民委員）
- 市と連携して事業手法を調査検討していこうとしているので、内容が固まれば地元にも説明したい。（事務局）
- ・玉津地区の櫛谷川と明石川合流点下流では3m浸水し水が引くのに24時間もかかるとのことだが、対策はないのか。（県民委員）
- 浸水が24時間継続するというのは、想定最大規模降雨に対する洪水浸水想定と思われる。想定最大規模降雨は、ハードだけでは対応できないレベルのものであり、避難を含めたソフト対策で対応することとなる。（事務局）
- ・本日配付されたCGハザードマップのボールペンがいいと思う。どのくらい配布したのか。（県民委員、会長）
- 本日が初配付である。今後、県民局で行っている防災等の出前講座などの機会に配布していきたい。（事務局）
- ・最近、下水道の老朽化が問題となっているが、先ほど主な取組みで説明のあった瀬戸第4号（雨水幹線）は、老朽化対策ではなく新設か。（会長）
- 今回紹介したのは新設管である。既設管については国の指針に基づいて定期的に点検し

ている。(明石市委員)

・今のところ大きな改修はないのか。(会長)

→污水管は劣化が激しく、早め早めに対策している。(明石市委員)

→道路や人家に近い市管理河川は、5年に1回点検し、問題のあった箇所は翌年に改修している。下水道も同様である。道路陥没を防ぐため、路面下の空洞調査等を実施している。小規模な陥没は、年間数件発生している。(神戸市委員)

(3) 計画のフォローアップについて

資料6「地域総合治水推進計画のフォローアップ」、資料7「神明(明石川等)地域総合治水推進計画 フォローアップシート(改定案)」について説明(事務局)

・協議会は、フォローアップのため毎年開催することになるのか。(会長)

→フォローアップは、取りまとめ結果を各委員に送付するとともに、ホームページに掲載することで行っていきたい。また、協議会は、毎年開催ではなく、社会情勢の変化に伴う計画改定など何か節目があれば開催するということになる。(事務局)

・明石川では大雨が降ると土砂が堆積するので、定期的に撤去してほしい。(県民委員)

→近年も土砂撤去は実施しており、樹木伐採もできる範囲で実施している。上流のほうも土砂堆積状況を見ながら事前防災という考え方で対応していきたい。(事務局)

・河川敷は、樹木伐採して公園利用すれば、樹木の繁茂を比較的抑制できるのではないか。(県民委員)

→明石川下流では、明石市が占用し高水敷を散歩等の公園利用されている。河川内であるため、安全と利用が共存できる方法が市や地域とまとまるようなら、神戸市域でも考えられる。(事務局)

・神戸市域と明石市域で瀬戸川と清水川の名前が違う。明石市域の清水川を上流に遡って神戸市域になると瀬戸川となっている。(県民委員)

→二級河川上流の準用河川の区間でご指摘の通り名前が入れ違っている。どう対処するかは考えていきたい。(神戸市委員)

・以上、計画案の大きな修正はなかったため、細かな修正は会長に一任いただくということによろしいか。(会長)

→(異議なし。)(委員一同)

3. その他

(1) 神戸地方気象台からの情報提供

資料8「神戸地方気象台からの情報提供」について説明(神戸地方気象台)

・神戸市は広いため、大雨警報が市全体に発令されても神明地域は晴れている場合がある。細分化するというような話はないか。(県民委員)

→現在、警報は市町単位で発表しており、詳細な情報はキキクルを見ていただく必要がある。ご指摘の問題は神戸市危機管理室から要望を受けており、細分化の検討中である。(神戸地方気象台委員)

4. 閉会

以上

第7回神明(明石川等)地域総合治水推進協議会 出席者名簿

【委員】

区分	氏名	所属等	出欠
◎学識経験者	神田 佳一	独立行政法人国立高等専門学校機構 明石工業高等専門学校 名誉教授	出席
国	吉野 昌史 (代理)竹田 進	神戸地方気象台長 (神戸地方気象台 防災管理官)	代理出席
兵庫県	野北 浩三	東播磨県民局長	出席
	内藤 良介 (代理)河澄 健輔	神戸県民センター長 (神戸県民センター神戸土木事務所所長補佐(企画調整担当))	代理出席
神戸市	久元 喜造 (代理)脇本 英伸	神戸市長 (神戸市 建設局河川課長)	代理出席
明石市	丸谷 聡子 (代理)森本 康平	明石市長 (明石市 都市局下水道部長兼次長(総合治水担当))	代理出席
県民	井上 慶三	玉津町自治会会長【神戸市】	出席
	濱口 眞壽	岩岡連合自治会会長【神戸市】	出席
	橋本 二三夫	王子校区連合自治会会長【明石市】	出席
	樽井 誠	林校区連合町内会会長【明石市】	出席

◎:協議会会長

神明(明石川等)地域総合治水推進協議会公開要領第11条2項に基づき、上記議事録について相違ないことを証明するためここに署名する。

神明(明石川等)地域総合治水推進協議会

会長：独立行政法人国立高等専門学校機構明石工業高等専門学校 名誉教授

神田佳一

明石市 都市局下水道部長兼次長(総合治水担当)

森本康平